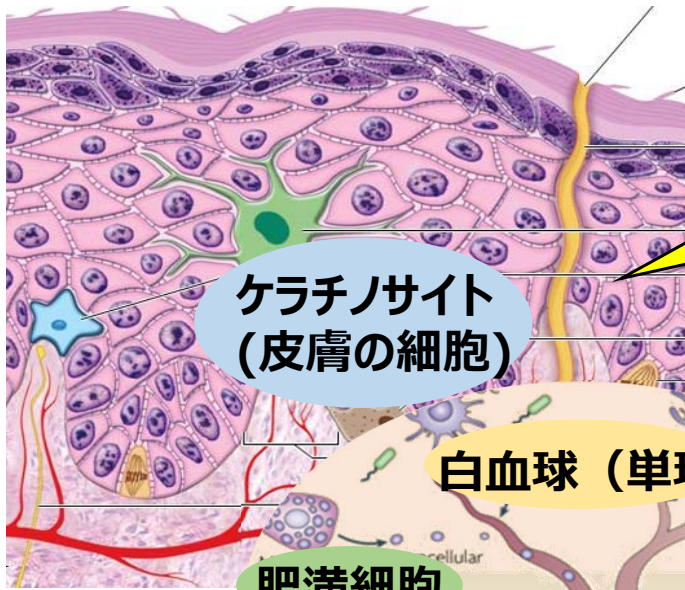


# 低線量放射線が皮膚やリンパ節の細胞に及ぼす影響を調べました

順天堂大学医学部 臨床検査医学

田部陽子



ケラチノサイト  
(皮膚の細胞)

低線量放射線 ( 0.1 グレイ)

CTガイド下の生検やドレナージなど  
医療による被爆量と同等の線量

白血球 (単球)

肥満細胞

低線量放射線の直接的な影響と  
周囲の細胞からの間接的な影響について  
遺伝子、蛋白、代謝の変化を調べました。

結果は、低線量放射線の影響は高線量  
放射線とは全く異なるものでした。

特に、低線量放射線を浴びた周囲の細胞から  
うける間接的な影響  
「適合効果(Adoptive Effects)」  
によって炎症が抑制されることがわかりました。

